

第5回 物流用ドローンポート連絡会 議事概要

1. 主な議事

○事務局及び構成員より各資料を説明した上で、意見交換を行った。

2. 主な意見

○ドローンポートを安定的に運用するためには、通信回線の混雑状況をはじめ、通信環境による影響を考慮して設計すべきである。

○ドローンが送信機（プロポーショナル・システム）と長距離通信できない状態で低高度になった場合、ドローンポートから再離陸の信号を出す、もしくはLTEなどの補助的な通信機能が必要になってくるのではないか。

○離着陸時に、送信機（プロポーショナル・システム）、GCS（グランドコントロールステーション）、ドローンポートからのどの指示を優先すべきかについて、ガイドラインに今回の実証成果を入れられたい。

○ガイドラインおよびそれに付随する運行前チェックリストについては、ユーザーからのフィードバックやレビューを集め、緊急性の高いものは最新版にすぐ反映することができる等、動的なものにすべきである。

○実証実験では、鳥の飛来といった問題もあったため、過疎地特有の観点をガイドラインに盛り込まれたい。

○ガイドラインは、一般のドローンポートも含めるのかどうか、対象を明確にすべきである。

また、一般的なドローンポートについて利用要件等をまとめることにより、国際標準化の議論のベースになるのではないか。

○飛行中のドローンに異常が発生した際の安全対策や非常に重要である。

以上